

までいな健康づくり事業スタート～あなたの健康づくり応援します～

今年度から、自分の健康は自分で守る。自ら実施・地域で応援する健康教室が始まりました。

福島市の八子医院と健康指導の協定を結び、運動指導を中心に教室を開催中。

今年、宮内、上飯樋、蕨平、前田の4行政区で展開します。今後5年間、全行政区で実施する予定で、5年後には村民全体の健康レベルのアップと健康づくりの一人ひとりの意識向上を目指しています。

第1回目の教室は、8月9日と17日に、八子芳樹副院長により、「運動と食生活を中心とした生活習慣病予防」と題して講話が実施されました。

その後、参加者は日常生活を振り返り、運動と食生活それぞれに目標を決めました。

今後、2月末まで運動の実技指導、栄養講話、親子料理教室等の内容で開催されます。



▲八子芳樹副院長による講話（上飯樋地区）

統合診療所は地域の安心施設として、さらには健康づくり・リハビリテーションとしての機能を持った施設とし、医療においては、現在のような通院診療（二次診療）を医療機器を充実させ、さらに入院治療や専門的な治療（二次診療）のできる病院との連携を図ることとしています。

第2回答申
統合診療所の機能について
 さらに二次診療との連携を図る

統合診療所は地域の安心施設として、さらには健康づくり・リハビリテーションとしての機能を持った施設とし、医療においては、現在のような通院診療（二次診療）を医療機器を充実させ、さらに入院治療や専門的な治療（二次診療）のできる病院との連携を図ることとしています。

第1回答申
統合診療所の運営形態について
 可能性があれば公設民営が望ましい

第8回委員会は8月28日に開催され、最終回答がされました。最終回答は、第1回答申から第3回答申を要約したもので次の内容となっています。

統合診療所整備検討委員会（最終回答申）

第3回答申
住民が使いやすい診療所とするために
交通手段、診療体制、夜間・休日の体制充実を図る

交通手段については、診療所の送迎のみでなく、多様な目的で利用できる、コミュニティバスの整備が望まれます。診療体制は、原則として医師の複数体制とし、就業後診療により利用度を高めることとしています。夜間・休日の対応については、医師の常駐が望まれます。

今後は、村の方針を決定し、住民説明会を開催する予定です。



▲菅野村長に最終回答申をする福島大学鈴木典夫委員長（左）

90歳以上長寿番付

(敬称略)

男		年齢	女	
氏名	行政区		氏名	行政区
		102	大浦英子	伊丹沢
大久保文雄	宮内	99		
		98	庄司サキ	伊丹沢
			森永ワサ	前田・八和木
菅野健藏	比曾	97	只野タケ	伊丹沢
菅野信長	伊丹沢	96	佐藤フヨ	深谷
大槻善助	大倉		大和田ツマ	伊丹沢
高野久次郎	関沢	95	松田マチノ	深谷
石井英雄	飯樋町		田邊ハツミ	伊丹沢
			高木クノ	大倉
高橋喜六	伊丹沢	94	菊池ハナイ	草野
木幡常治	小宮		北里ハルノ	伊丹沢
			高野フカ	大倉
			細川マツ	上飯樋
			高橋フチヨ	比曾
			佐藤マツイ	長泥
			佐藤サツヨ	関根・松塚
			佐藤ワキ	二枚橋・須萱
高野政見	八木沢・芦原	93	三浦キミ	伊丹沢
			永井ミツ子	関沢
			古川ハナ	小宮
			菅野フミ	佐
			佐藤キヨ	大久保・外内
鈴木倉之助	伊丹沢	92	草野野	野
東海林貞吉	伊丹沢		伊丹沢	伊丹沢
大久保勝美	大倉		伊丹沢	伊丹沢
			高橋トミ子	飯樋町
			古川ヨシイ	飯樋町
			北嶋原ミユキ	長泥
鈴木孝吉	草野	91	佐藤フチエ	伊丹沢
高野要治	関沢		山田フヨノ	伊丹沢
高橋正雄	小宮		高橋カヲル	伊丹沢
			木幡四	八木沢・芦原
			松下フチノ	宮内
			大和田ウメ	比曾
		嶋原フカノ	長泥	
			菅野秀子	蕨平
大和田六郎	伊丹沢	90	平野トシ	草野
齋藤金男	八木沢・芦原		只野アサヲ	伊丹沢
高野一郎	前田		横山マツエ	伊丹沢
			菅野菊栄	伊丹沢
			石黒ミヨシ	八木沢・芦原
			高野トシイ	大倉
			菅野アサヨ	佐須内
			佐々木はまよ	宮内
			大東春子	飯樋町
			齋藤ハルイ	前田・八和木
			遠藤ミノル	比曾
			菅野ツルノ	比曾
		中島タケヨ	関根・松塚	
		高橋スギノ	前田	
		井上ブン		



9月15日「飯館村敬老会」

村と婦人会では、飯館村の発展に貢献されたお年寄りの皆さんをお招きし、長寿を祝う「敬老会」を、9月15日に飯館中学校体育館で行います。対象者は4月1日現在75歳以上の方で、1060人（9月1日現在）。

当日は、各地区から会場までの送迎バスを運行します。（バス運行表は今回の「お知らせ版」裏面に掲載しています）敬老会の詳しい内容は、健康福祉課福祉係（☎42-1620）へお問合わせください。

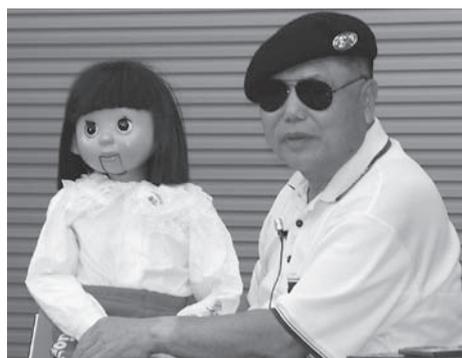


▲昨年の敬老会のようす

嬉しいときも悲しい時も笑おう

8/5

地域ぐるみ福祉活動講演会



▲人形の「さくらちゃん」と共に講話をする講師の佐々木政巳さん

村社会福祉協議会主催の地域ぐるみ福祉活動講演会が、「いちばん館」で開かれ、村民ら約100人が参加しました。講師は、ボランティアで全国各地の福祉施設等への慰問活動を続けている佐々木政巳さん（郡山市）が務めました。佐々木さんは「逆境をバネにして」と題し、4歳の時に視力が低下し失明、視覚障害になったことや家族のこと、また、悲しみや苦しみを克服しようとして腹話術を学んだことなど、自身の体験を、腹話術

人形を交えての話され、参加者らは熱心に耳を傾けていました。

出席した参加者は「講演の中で、『人生を「竹」、失明を「竹の節」に例え、「節」はあるけれど、それを人生の転機ととらえたら未来が開けてきた」という言葉が印象的だった。「嬉しいときも、悲しい時も、どうせなら笑おう」という言葉に励まされた」と感想を話していました。



▲講演会のようす

8/10

マタニティパパママ教室

～パパ・ママの準備完了！～



▲赤ちゃんの人形を使ったお風呂体験

もうすぐ出産を迎えるパパ・ママを対象に、妊娠中の過ごし方やむし歯予防の話、パパの妊婦体験や夫婦でできるマッサージなどを行いました。

約7キロの妊婦ジャケットを着て、階段の上り下りや足の爪切りを体験したパパは、妊婦の大変さを実感したようです。

また、赤ちゃんの人形を使ってのお風呂体験では、最初は赤ちゃんの抱っこもぎこちない様子でしたが、助産師からアドバイスを受け、上手にお風呂に入れられるようになりました。

参加したパパからは、「子どもを早くお風呂に入れた」「ママの大変さが分かった」などの産まれてくる子どもへの愛情や、妻へのいたわりの声が聞かれました。村では、これからも夫婦で少しでも不安なく出産に臨めるよう、教室を開催していきます。

子どもは“たからもの” フォト・川柳コンテスト募集

楽しい子育ての思い出をパチリ！子どもの思いがけない一言を一句に！「子どもがいること」での日常生活の姿や楽しさ、感動、笑顔を写真・川柳で募集しています。ぜひご応募下さい。

応募は9月20日(土)まで☑当日消印有効☑

○お問合わせ…健康福祉課福祉係☑☎4☑☑☑☑☑☑